

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成17年9月22日(2005.9.22)

【公開番号】特開2004-8603(P2004-8603A)
 【公開日】平成16年1月15日(2004.1.15)
 【年通号数】公開・登録公報2004-002
 【出願番号】特願2002-168085(P2002-168085)
 【国際特許分類第7版】

A 6 3 F 5/04

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 F

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月14日(2005.4.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数種類の識別情報を可変表示可能な複数の可変表示部を有する可変表示装置と、前記可変表示装置の可変表示を制御する表示制御手段とを備え、前記複数の可変表示部に停止表示される識別情報の表示結果が、予め定められた特定の識別情報の組み合わせとなる場合に所定の遊技価値を遊技者に付与可能な特定遊技状態になる遊技機であって、

前記特定の識別情報を停止表示すべき前記可変表示装置の有効ラインを抽選する有効ライン抽選手段を備え、

前記表示制御手段は、前記有効ライン抽選手段により抽選された有効ライン以外に前記特定の識別情報の組み合わせが停止表示された場合に、前記可変表示装置の識別情報を再度可変表示させ、前記抽選された有効ラインに前記特定の識別情報の組み合わせを停止表示する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

複数種類の識別情報を可変表示可能な複数の可変表示部を有する可変表示装置と、前記可変表示装置の可変表示を制御する表示制御手段とを備え、前記複数の可変表示部に停止表示される識別情報の表示結果が、予め定められた特定の識別情報の組み合わせとなる場合に所定の遊技価値を遊技者に付与可能な特定遊技状態になる遊技機であって、

前記特定の識別情報を停止表示すべき前記可変表示装置の有効ラインを抽選する有効ライン抽選手段を備え、

前記表示制御手段は、前記有効ライン抽選手段により抽選された有効ラインに特別の識別情報が停止表示された場合に、前記可変表示装置の識別情報を再度可変表示させ、前記有効ラインに前記特定の識別情報の組み合わせを停止表示する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項3】

複数種類の識別情報を可変表示可能な複数の可変表示部を有する可変表示装置と、前記可変表示装置の可変表示を制御する表示制御手段とを備え、前記複数の可変表示部に停止表示される識別情報の表示結果が、予め定められた特定の識別情報の組み合わせとなる場

合に所定の遊技価値を遊技者に付与可能な特定遊技状態になる遊技機であって、

前記特定の識別情報を停止表示すべき前記可変表示装置の有効ラインを抽選する有効ライン抽選手段と、遊技情報を表示する遊技情報表示部を備え、

前記表示制御手段は、前記遊技情報表示部に特別の識別情報が表示されたときに、前記可変表示装置の識別情報を再度可変表示させ、前記有効ライン抽選手段により抽選された有効ラインに前記特定の識別情報の組み合わせを停止表示する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 4】

前記表示制御手段により、前記可変表示装置の識別情報が再度可変表示させている期間中は、前記可変表示装置において識別情報の可変表示を始めるために必要となる操作の少なくとも一つの操作を無効にする

ことを特徴とする請求項 1、2 または 3 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記複数の可変表示部の動作を開始操作する開始操作部を備え、

前記表示制御手段により、前記可変表示装置の識別情報が再度可変表示させている期間中は、前記開始操作部の開始操作を無効にする

ことを特徴とする請求項 1、2 または 3 に記載の遊技機。

【請求項 6】

前記表示制御手段により、前記可変表示装置の識別情報が再度可変表示させている期間中は、前記可変表示装置において識別情報の可変表示を始めるために必要となる遊技媒体の投入する操作を無効にする

ことを特徴とする請求項 1、2 または 3 に記載の遊技機。

【請求項 7】

前記有効ライン抽選手段により抽選された前記有効ラインに前記特定の識別情報の組み合わせが停止表示される場合に前記有効ラインに対応する入賞確率の特定遊技状態にすべく前記有効ライン毎に用意されている入賞確率テーブルを備え、

前記入賞確率テーブルは、高配当遊技を行う特定遊技状態の入賞役の入賞確率が異なることを特徴とする請求項 1 ~ 6 の何れかに記載の遊技機。

【請求項 8】

前記有効ライン抽選手段により抽選された前記有効ラインに前記特定の識別情報の組み合わせが停止表示される場合に前記有効ラインに対応する入賞確率の特定遊技状態にすべく前記有効ライン毎に用意されている入賞確率テーブルを備え、

前記入賞確率テーブルは、小当たりが高確率で発生する一般遊技と所定回の高配当遊技とを行う特定遊技状態の入賞役の入賞確率が異なる

ことを特徴とする請求項 1 ~ 6 の何れかに記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

かかる目的を達成するための本発明の要旨とするところは、次の各項の発明に存する。

[1] 複数種類の識別情報を可変表示可能な複数の可変表示部を有する可変表示装置(20)と、前記可変表示装置(20)の可変表示を制御する表示制御手段(130)とを備え、前記複数の可変表示部に停止表示される識別情報の表示結果が、予め定められた特定の識別情報の組み合わせとなる場合に所定の遊技価値を遊技者に付与可能な特定遊技状態になる遊技機であって、

前記特定の識別情報を停止表示すべき前記可変表示装置(20)の有効ラインを抽選する有効ライン抽選手段(160)を備え、

前記表示制御手段(130)は、前記有効ライン抽選手段(160)により抽選された有効ライン以外に前記特定の識別情報の組み合わせが停止表示された場合に、前記可変表示装置(20)の識別情報を再度可変表示させ、前記抽選された有効ラインに前記特定の識別情報の組み合わせを停止表示する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

[2]複数種類の識別情報を可変表示可能な複数の可変表示部を有する可変表示装置(20)と、前記可変表示装置(20)の可変表示を制御する表示制御手段(130)とを備え、前記複数の可変表示部に停止表示される識別情報の表示結果が、予め定められた特定の識別情報の組み合わせとなる場合に所定の遊技価値を遊技者に付与可能な特定遊技状態になる遊技機であって、

前記特定の識別情報を停止表示すべき前記可変表示装置(20)の有効ラインを抽選する有効ライン抽選手段(160)を備え、

前記表示制御手段(130)は、前記有効ライン抽選手段(160)により抽選された有効ラインに特別の識別情報が停止表示された場合に、前記可変表示装置(20)の識別情報を再度可変表示させ、前記有効ラインに前記特定の識別情報の組み合わせを停止表示する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

[3]複数種類の識別情報を可変表示可能な複数の可変表示部を有する可変表示装置(20)と、前記可変表示装置(20)の可変表示を制御する表示制御手段(130)とを備え、前記複数の可変表示部に停止表示される識別情報の表示結果が、予め定められた特定の識別情報の組み合わせとなる場合に所定の遊技価値を遊技者に付与可能な特定遊技状態になる遊技機であって、

前記特定の識別情報を停止表示すべき前記可変表示装置(20)の有効ラインを抽選する有効ライン抽選手段(160)と、遊技情報を表示する遊技情報表示部(60)を備え、

前記表示制御手段(130)は、前記遊技情報表示部(60)に特別の識別情報が表示されたときに、前記可変表示装置(20)の識別情報を再度可変表示させ、前記有効ライン抽選手段(160)により抽選された有効ラインに前記特定の識別情報の組み合わせを停止表示する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

[4]前記表示制御手段(130)により、前記可変表示装置の識別情報が再度可変表示させている期間中は、前記可変表示装置(20)において識別情報の可変表示を始めるた

めに必要となる操作の少なくとも一つの操作を無効にする
ことを特徴とする [1]、[2] または [3] に記載の遊技機。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

[5] 前記複数の可変表示部の動作を開始操作する開始操作部 (13) を備え、
前記表示制御手段 (130) により、前記可変表示装置の識別情報が再度可変表示させて
いる期間中は、前記開始操作部 (13) の開始操作を無効にする
ことを特徴とする [1]、[2] または [3] に記載の遊技機。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

[6] 前記表示制御手段 (130) により、前記可変表示装置の識別情報が再度可変表示
させている期間中は、前記可変表示装置 (20) において識別情報の可変表示を始めるた
めに必要となる遊技媒体の投入する操作を無効にする
ことを特徴とする [1]、[2] または [3] に記載の遊技機。